

国土強靱化基本法案

～ 長期間にわたって維持可能な国家機能・日本社会の構築を図るために ～

JNNが先月調査を行った結果、12月に発足した安倍内閣の支持率は66.9%、支持できないは31.2%でした。(なお民主党支持率は6.4%)

そして安倍内閣が優先して取り組むべき課題は「景気や雇用」がトップでした。民主党に対する怒りや失望が、本当はそれほど好きではない自民党へ直に流れ、国民の藁にもすがらる思いで内閣支持率が高いようです。



国会が開かれてなく正式スタートしたとはいえない(1月21日現在)のに、為替や株価の上昇など国民の期待感の大きさが分かります。1日も早く補正予算や新年度予算を通し、実行してもらいたいと思います。

その中でも私たち業界人にとって一番の期待は「国土強靱化」計画です。今後予想される首都直下地震や南海トラフ地震に対する備え(事前防災)、東北被災地の復興などを中心に今後10年間で兆円投資するというものです。これは公共工事が主な地場産業で雇用創出や経済のけん引役である「地方」にとってはまさに「干天の慈雨」となること間違いなしです。

《 国土強靱化の基本理念 》

1. 経済などにおける過度の効率性の追求の結果としての一極集中や国土の脆弱性の是正
→戦後の国土政策・経済政策の総合的検証の結果に基づく多極分散型の国土の形成
2. 地域間交流・連帯の促進や特性を生かした地域振興、地域社会の活性化、定住の促進
→わが国の諸課題の解決や国土の保全、国土の均衡ある発展(複数国土軸の形成)
3. 大規模災害の未然防止や発生時の被害拡大の防止、国家社会機能の代替性の確保
→大規模災害発生時におけるわが国の政治、経済、社会活動の維持可能性の確保

(詳しくは自民党HP <http://www.jimin.jp/>)

従来からの一極集中を是正する多極分散、多軸型の国土形成は、当地のように立ち後れている日本海側を整備するためにも、ぜひやってもらいたいと思います。

最後に地元、郡家出身の石破衆議院議員に関する調査です。(FNN世論調査)

「石破茂氏の党幹事長は適任だと思う」→「思う」66.5%、「思わない」18.5%でした。



会計検査 Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査 Q&A」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。
元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

今月の質問：調査官にノルマは？

Question

検査のときの調査官は非常に熱心に検査するが、検査に際してある程度の指摘事項を挙げるようにノルマのようなものを課せられているのだろうか？また、会計検査院では、検査の実績が昇進に関係するシステムになっているのか？



Answer

検査に際して調査官がノルマのようなものを課せられているということはありません。しかし、調査官はその年の検査報告に自分がかかわった問題を掲記することを常に考えて検査にあたっていますので、検査の際には検査報告に掲記するのに値するような事態がないか全神経を集中しています。最近は現場で個別不当事項を発掘する検査より、テーマに沿って横断的に検査することが多くなり、チームで共同して問題を仕上げるというように検査スタイルも大分変わってきましたが、調査官の気持ち、基本は同じです。

毎年、相当な日数にわたって各調査官とも実地調査に出かけますが、結果として、調査官により指摘事項の数でも相当な差があることは事実です。総合的な「検査力」の差といってよいでしょう。こうした検査の実績が人事評価の対象となり、昇進に影響するということはあると思います。しかし、問題は指摘件数や指摘金額の多寡ではなくその内容です。今まで人が手がけなかったような分野に新たな切り口で問題を提起するなど困難な仕事ほど評価が高いのは当然ですし、検査報告はチームワークで作成することも多くなってきていますので、単に問題を発見するだけでなく、企画、調査、分析、交渉などさまざまな能力が調査官には必要ですし、何よりチームを統率するリーダーシップ性が大切な資質として求められます。

実地検査に臨んだ調査官は、指摘事項の発掘に意欲を燃やすのは当然ですが、それより以前に検査対象の方の話に謙虚に耳を傾け勉強します。そして受検側のやり方に疑問がある場合は、自分の考えを述べ検討を要請します。時には積極的に指導、助言をします。会計検査を相手の人にとっても役に立つものにしたいとの気持ちを強く持っているのです。

調査官の評価はそうしたトータルの検査活動に対して行うようにしています。

レオちゃんの製品紹介コーナー

ボックスカルバート

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪
 今月は **ボックスカルバート**をご紹介します。



ボックスカルバートは、従来現場打ちされていたものをプレキャスト化し、小河川の道路横断部分、山間部の排水路、公共下水道、共同溝、地下道等に使用されます。
 インフラ整備に大活躍な製品です！



◆ 製品に関するお問い合わせ
 ☆資料請求は
 直通電話：**0858-73-0500**
 までお気軽にどうぞ！
 FAX：**0858-73-0535**
 E-mail：info@kooge.jp



この製品は日本興業株式会社のご協力をいただいております。
日本興業株式会社

【特長】

- 高品質の製品です。**
 下水道認定資器材の認定工場生産されるため、十分な強度・耐力を有し、均一で高品質です。
- 大幅な工期短縮が図れる製品です。**
 あらかじめ製造した工場製品を据え付けるだけですので現場打ちと比較して大幅な工期短縮が図れます。
- 高い安全性を有している製品です。**
 (社)日本道路協会「道路土工カルバート工指針」に準拠して設計しておりますので、安心してご使用いただけます。
- 施工が簡単な製品です。**
 現場打ち工法と比較して施工が簡単であり、熟練工をほとんど必要としません。施工管理も簡単です。
- 経済的な製品です。**
 本単工事費はもちろん、大幅な工期短縮による架設工、掘削土量の減少によるトータルコストを削減できます。
- 製品同士の一体化に各種の方法があります。**
 製品同士の一体化には、通常敷設型・縦方向連結型・可とう継手等、現場状況に応じて最適な接続方法を選択することができます。
- 特殊な場所でも施工することができます。**
 現場の状況に応じて、リフトローラー工法・オープンシールド工法など最適な工法を選択することができます。

【適用規格】

タイプ	内容		適用土被り (T-250)
道路土工指針型 【新JIS認証製品】	1種	社)日本下水道協会Ⅱ類認定資器材として登録され、外圧強さで1種・2種に区分される。2種は主としてコンクリート用膨張性混和剤を使用し、ひびわれ強度が大きくなっています。	(標準) 0.2~3.0m
	2種		
Nタイプ (標準タイプ)	指針型と同等であるが、材料強度・配筋が異なる当社の独自規格		Nタイプの内幅4000サイズは0.2~1.5m
特注タイプ	指針型・Nタイプでは対応できない規格や設計条件に対応		現場条件による



【製品サイズ:Nタイプ抜粋】

呼び名		規格寸法(mm)							有効長(L)	参考重量(kg)
内幅(B)	内高(H)	T1	T2	T3	C	L1	L2			
600	600	130	130	130	100	60	40	2,000	2,000	
1000	1500	130	130	130	150	60	60	2,000	3,810	

Nタイプでは対応できない規格寸法や設計条件にも対応いたします。
一部リサイクル製品で対応できない規格もありますのでお問い合わせください。



鳥取県米子市
市道立町米原線改良工事
規格：600×600

施工現場は米子市内の繁華街にある市道沿いです。
施工延長は約130mあります。
今年の春に完成予定です。



プレキャスト製品だから 工期も短縮、仕上がりもキレイだね！



鳥取県八頭郡若桜町
県道若桜湯村温泉線交差点改良工事
規格：800×800

施工現場は若桜町地内の道の駅近くです。
現場は完成済みです。

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

2月になりましたが、当地では過去にないほどの降雪の少なさです。雪国にとって除雪は、大きなコストがかかりますのでごく助かっています。
また例年ならこれから仕事先細りになり、不安を感じる時期ですが、アベノミクスの宣伝に業界関係者は大きな期待を抱いています。年度末を控え忙しくしていらっしゃる方も多いと思いますが、新年度に期待してお互いにもうひと頑張りしましょう。(山根)

